



# 2019年1月期 第1四半期 決算説明資料

**ベステラ株式会社**  
東証第一部(証券コード:1433)

# 決算のポイント(連結)

## 連結決算への移行

・2018年3月30日付けで、(株)ヒロ・エンジニアリングを子会社化し、連結決算へ移行いたしました。業績への影響は軽微であるため、本資料では主に個別決算を対比しております。

## 売上高

**1,052**百万円

・売上高は、計画通りに工事が進捗したことで、前年を上回りました。大型工事の進行に伴い、電力、ガス業界の比率が高くなっております。  
・前年同期比(個別)で23.6%増となっております。

## 営業利益

**72**百万円

・売上総利益率は、一部の進行基準工事で保守的に利益を見積った工事があるものの、他の工事では高水準を維持しております。  
・営業利益は、前年同期比(個別)で11.5%増となっております。

## 受注残高

**1,679**百万円  
(前年比9.4%減)

・受注残高は、工事の進捗に伴い、対前年9.4%減となっております。  
・電力業界からの受注割合が引き続き伸長しております。

# トピックス① (株)ヒロ・エンジニアリングの子会社化について

2018年3月30日付けで、航空・宇宙・プラント・産業機器業界を中心に技術支援、人材サービスを提供する(株)ヒロ・エンジニアリングが、当社の子会社となりました。互いにリソースを活用しあうことで、共に発展してまいります。



HIRO  
ENGINEERING

商号	株式会社ヒロ・エンジニアリング
事業内容	労働者派遣、設計・制作請負、教育・研修
所在地	東京都新宿区高田馬場一丁目33番6
設立	2015年5月1日
資本金	27,500,000円(2018年4月1日現在)
代表取締役	戸坂 功
従業員数	29名(2018年4月1日現在)

## 労働者派遣事業の対象業種

機械

電気  
計装

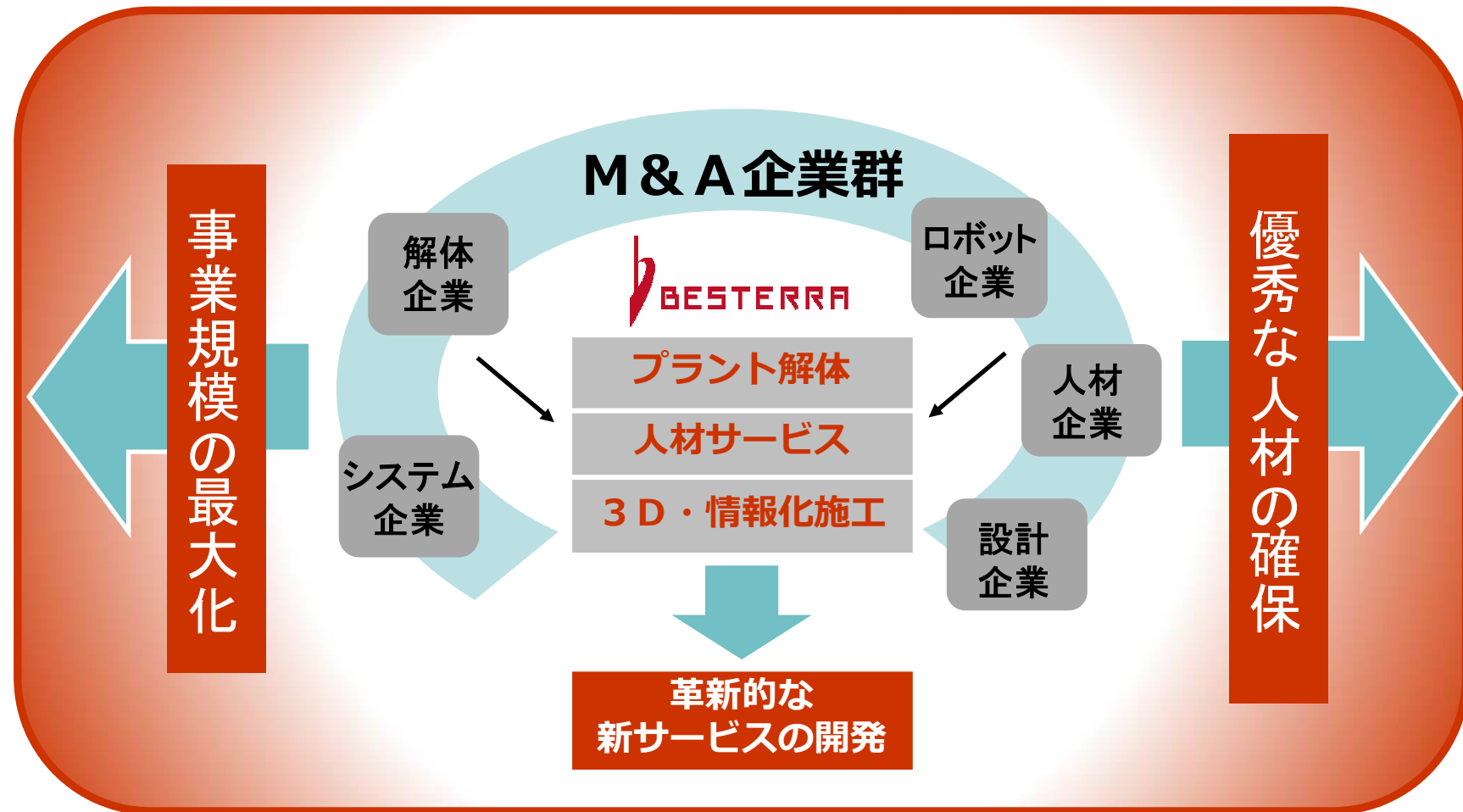
システム

デザイン

事務

# トピックス① M&A戦略

事業規模の最大化を図るとともに、関連性の高いサービス(設計、クラウド、ロボット等)の企業を加え、革新的な新サービスの開発を進めてまいります。



## トピックス② 本社の移転について

今後の規模拡大、人員増加に備え、本社を移転します。

現本社所在地 : 東京都墨田区江東橋四丁目24番3号 BTビル



移転先 : 東京都江東区平野三丁目2番6号 木場パークビル

- ・中期経営計画の進捗に伴い発生する人員の増加(連結子会社、関連会社増含む)に対応するため、オフィス環境を再整備し、一層の業務効率向上を進めてまいります。なお、本件による2019年1月期の業績への影響は軽微であります。



# 損益計算書: 第1四半期(2019年1月期)

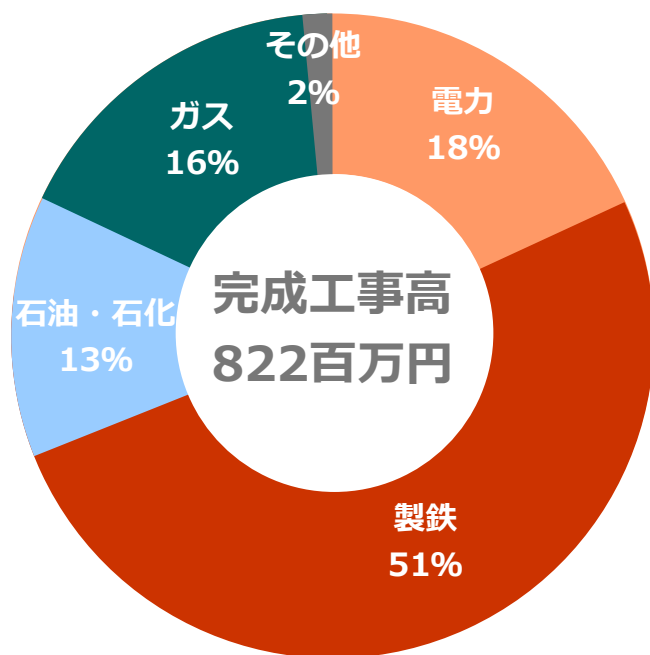
計画通りに工事が進捗したことで、売上高は前年を上回りました。売上総利益率は、保守的に利益を見積った一部の進行基準工事の影響で当初想定より若干下回ったものの、他の工事では高水準を維持しております。

単位: 百万円

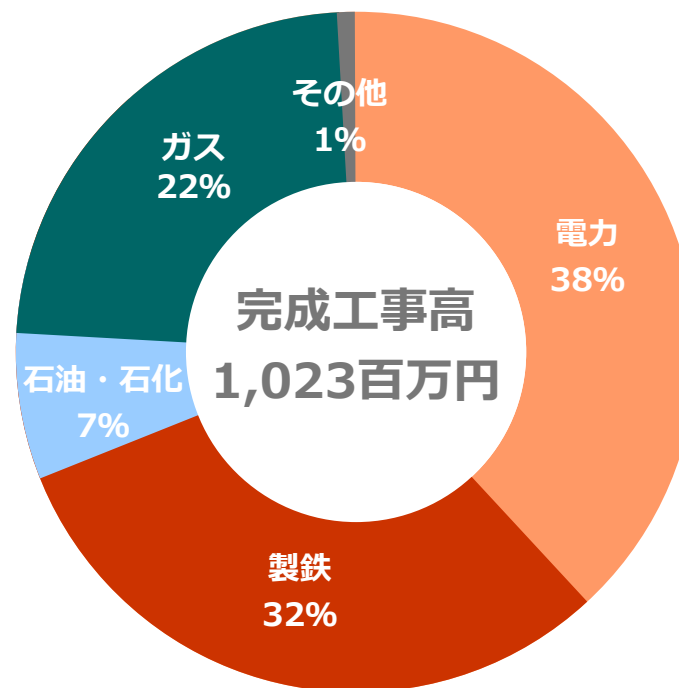
	2019年1月期 第1四半期 (連結)	2019年1月期 第1四半期 (個別)	対売上高 比率 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比 増減額 (個別)	前年同期比 増減率 (個別)
売上高	1,052	1,041	—	843	198	23.6%
売上総利益	197	195	18.7%	188	6	3.4%
販売費及び 一般管理費	124	121	11.7%	123	▲1	▲1.0%
営業利益	72	73	7.0%	65	7	11.5%
経常利益	74	74	7.2%	67	7	11.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	46	46	4.5%	43	2	6.6%

## 業界別 完成工事高構成比率

前年は大型の高炉解体がピークであったため、製鉄の割合が高くなっておりましたが、2019年1月期第1四半期は、発電所の解体案件が進行しているため、電力の比率が高くなっております。



2018年1月期（第1四半期）

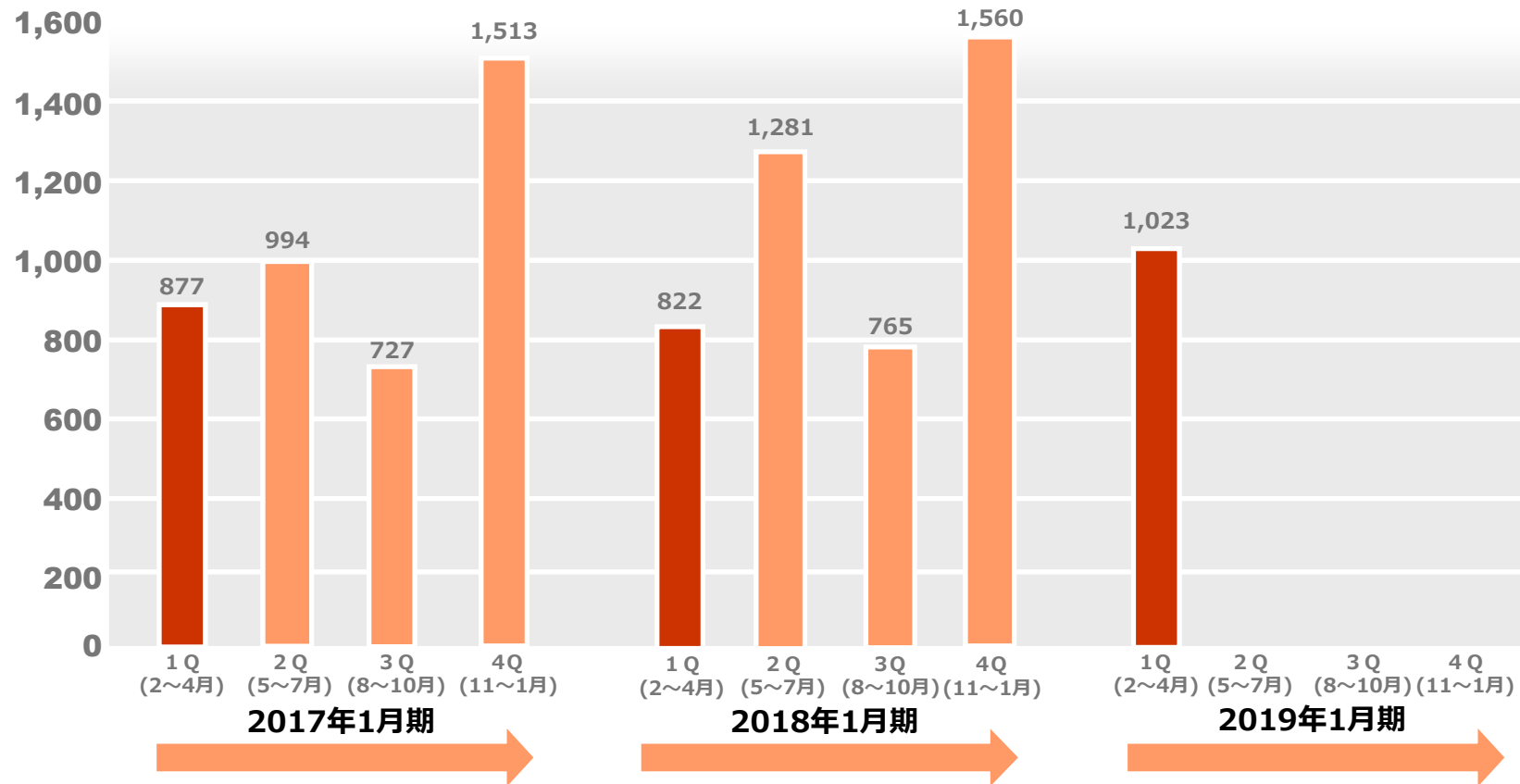


2019年1月期（第1四半期）

# 完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。2019年1月期も、第4四半期会計期間に計上される割合が比較的高くなる見込みです。

単位: 百万円





## 販売費及び一般管理費：第1四半期(2019年1月期)

前年の市場変更費用分の支払手数料が減少しております。また、人材育成への投資を積極的に進めております。

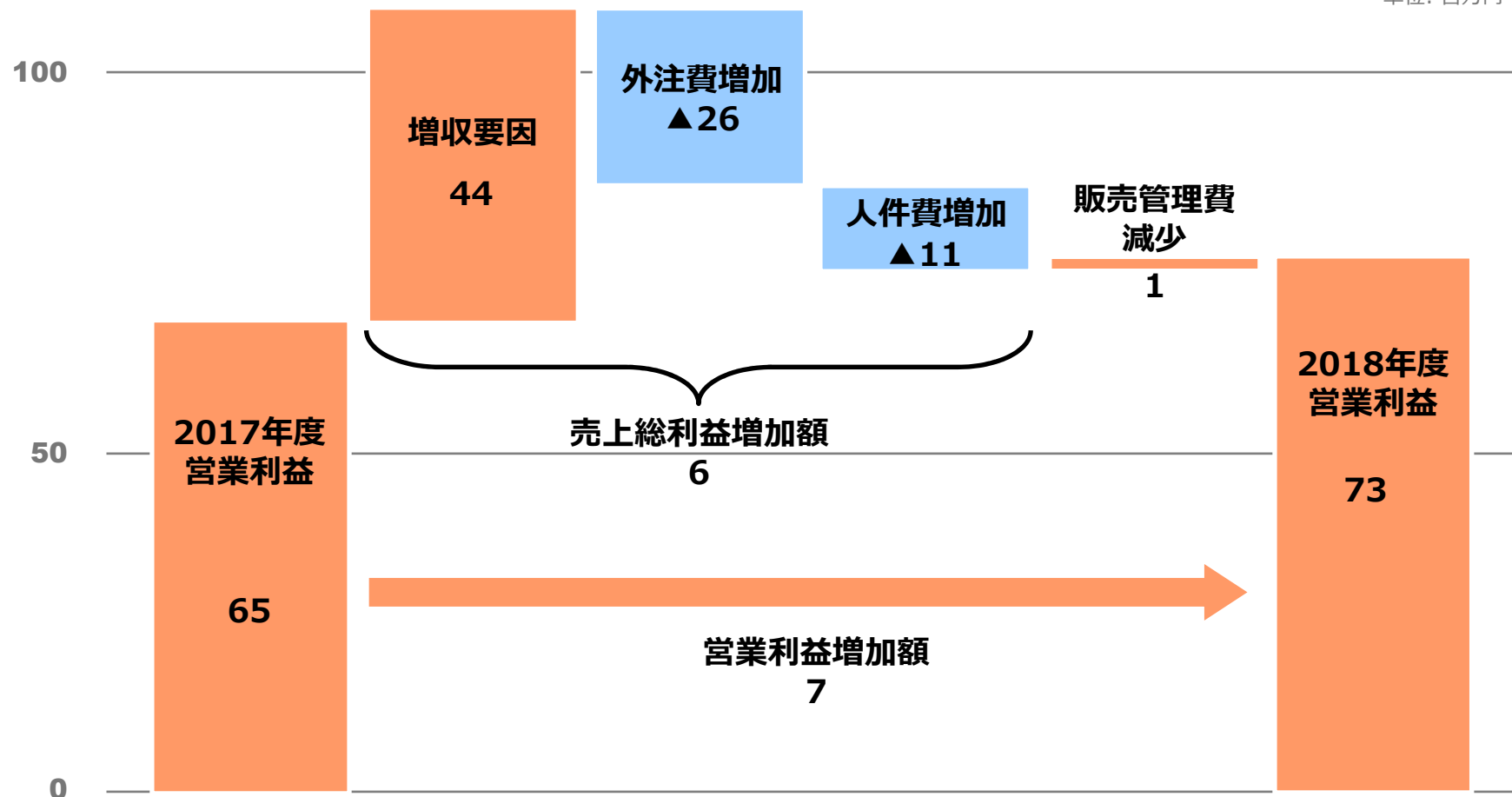
単位：百万円

	2019年1月期 第1四半期 (連結)	2019年1月期 第1四半期 (個別)	前年同期 (個別)	前年同期比 増減額 (個別)	前年同期比 増減率 (個別)	主な増減要因
人件費	57	56	53	3	6.0%	人員増
研究開発費	9	9	4	5	103.3%	ロボット開発
支払手数料 支払報酬	17	17	22	▲5	▲25.1%	上場市場変更費用の 減少
採用費	3	3	5	▲2	▲35.2%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	5	5	1	3	189.6%	展示会実施
その他	30	29	34	▲5	▲14.5%	
合計	124	121	123	▲1	1.0%	

## 営業利益の増減要因分析(個別):第1四半期(2019年1月期)

売上の増加による増収効果が、外注費や育成中の工事監督の件数増加を上回り、前年同期比で7百万円(11.5%)増となりました。工事監督は、第1四半期会計期間中に2名増加しており、前年同期比で7名増となっております。

単位: 百万円



# 貸借対照表：第1四半期(2019年1月期)

単位：百万円

	2019年1月期 第1四半期 (連結)	2019年1月期 第1四半期 (個別)	前事業年度末 (個別)	増減額 (個別)	主な増減要因
流動資産	3,444	3,380	3,521	▲141	大型の進行基準工事の 進行に伴う原価の支払 によるもの
(うち現金預金)	(455)	(406)	(752)	▲346	
固定資産	414	435	383	51	(株)ヒロ・エンジニアリ ング子会社化による、 のれん増加によるもの
流動負債	1,524	1,500	1,527	▲27	原価支払による短期の 未払金減少によるもの
固定負債	63	46	45	1	退職給付引当金の増加 によるもの
純資産	2,270	2,268	2,332	▲64	自己株式の取得による もの
総資産	3,858	3,815	3,905	▲89	

## 受注状況：第1四半期(2019年1月期)

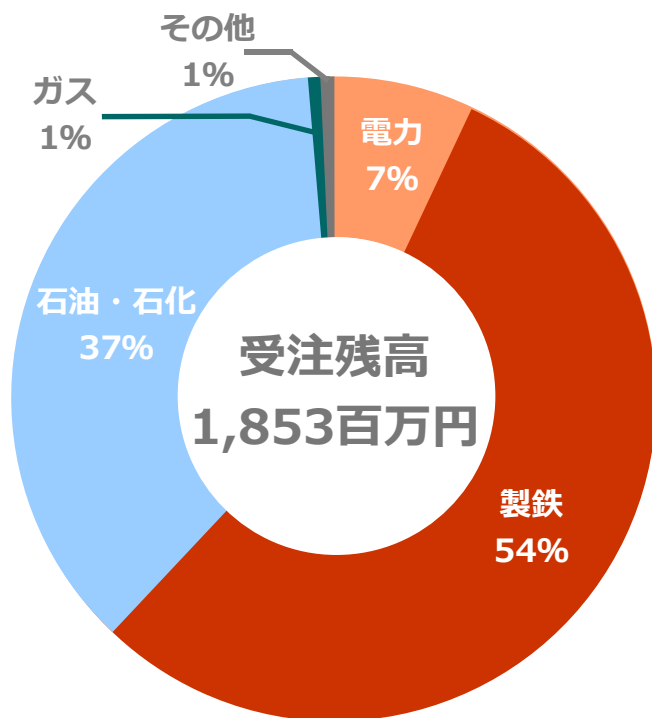
2019年1月期第1四半期は、着実に工事が進捗し、受注残高を計画通り消化しております。また、受注工事高においても、30.4%増で推移しております。

	2019年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	2,218	2,303	▲85	▲3.7%
受注工事高	485	372	113	30.4%
完成工事高	1,023	822	201	24.6%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,679	1,853	▲173	▲9.4%

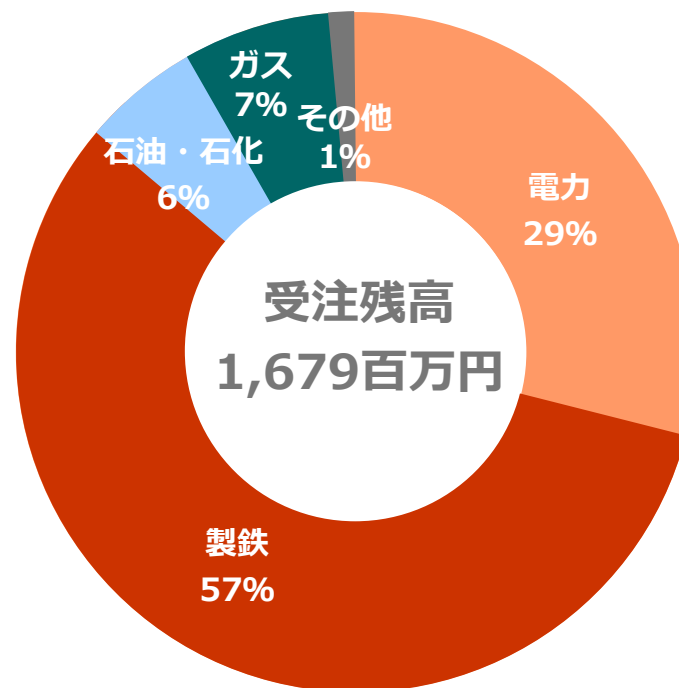
単位：百万円

# 業界別 受注残高構成比率

電力業界の高効率化の影響を受け、電力の比率が高くなっております。また、製鉄業界の周辺に位置づけられる大型プラントの受注を受け、製鉄の比率も高い状態で推移しております。



2018年1月期（第1四半期）



2019年1月期（第1四半期）

## 通期業績予想 (2019年1月期)

通期業績予想に対する進捗は順調に推移しております。当会計期間から、連結決算へ移行しております。

単位: 百万円

	業績予想 2019年1月期 (連結)	実績 2018年1月期 (個別)	増加率 (参考)
売上高	5,100	4,496	13.4%
営業利益	422	386	9.3%
経常利益	406	373	8.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	286	264	8.3%
1株当たり 当期純利益	34円	31円	—

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

**ベステラ株式会社**

